

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身障がい児 福祉ルームみらい早良Ⅱ号館		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア時の受け入れができています。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児を受け入れるための看護師配置があり、多職種による専門的な支援が受けれる。 ・連絡帳などその日実施した医療ケアなど細かく記載し保護者との共有をしている。 ・主治医からの指示書を基に医療ケアの実施を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的支援実施計画書の作成などを行い、支援の実施を図っている。 ・福祉サービスについての知識や技術を深め、家族の相談や序言が行えるように努める。
2	機能訓練(歩行や手先課題・マッサージや生活動作)に力を入れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士が専従で事業所にいるため、装具を履いての歩行訓練、制作や活動を通しての手指動作、衣服の着脱等の生活動作、足浴やマッサージ等を行っている。 ・月に3～5回不定期ではあるが外部からリハビリの先生を呼び、より専門的に機能訓練を実施している。 	引き続き保護者様や児童さんの希望を取り入れながら機能訓練を実施していく。
3	季節や行事に合わせたレクリエーション・制作活動をおこなっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・重心の児童さんが取り組みやすいよう工程を少なくしたり、指先を使うものや感覚刺激になるようなものを取り入れるなど内容を工夫している。 ・季節や月の行事を感じられるような活動や制作を毎月実施している。 	引き続き職員全員で案を出しながら児童が楽しんでもらえるレク活動や制作を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や保護者との交流ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策強化のため ・福祉サービスや訪問看護等のスケジュールが違うため交流会の日程調整が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策に気を付けながらきょうだい交流や地域交流が行えるように検討する。 ・保護者様に交流会のニーズを確認し、必要であれば検討していく。
2	こどもに対する家族の対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等や家族が参加できる研修の場の提供および情報提供が弱い。	保護者様から個別相談に題するアドバイスや助言はできているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みが弱い。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族様に研修等ニーズを確認し必要であれば検討していく。 ・個別に相談されることは引き続き行い、相談しやすい関係の構築に今後も力を入れていく。
3	外出支援があまりできていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策強化のため ・医療ケア児が多数おり、ケアの時間がそれぞれ異なっていたため外出支援が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出する際のスケジュールを見直していく。 ・外出する際は医療ケアの内容を事前に事前に保護者様に相談する。 ・近場でなおかつ短時間で外出できる場所がないか調べていく。